

STOP! 獣害!

あれっ?またアイツらが!
これ以上、近づいてきたら
吠えるで~



ソロモン
宇陀市野生動物追い払い犬
第1期認定犬(雑種犬 16歳)

その視線の先に・・・

問 農林課 (☎ 82・3679 / IP ☎ 88・9090)

■ニホンザルによる農作物被害

季節	被害を受ける作物
春	大根、えんどう豆、玉ねぎ、 植え付け直後のじゃがいもの種いも
夏	夏野菜全般
秋	稲、さつまいも、柿、栗
冬	大根、納屋に保管している 野菜、穀物など

当時の宇陀市での野生動物による農作物被害は8千万円以上(H19)にも上りました。
ニホンザルは、昭和51年頃から旧室生村南東部で被害が拡大し始め、年間を通じて、作物だけでなく、民家の屋根瓦や雨どいなどへの建物被害や屋内

県境で隣接する宇陀市室生地域と三重県名張市。両地域ではかねてよりニホンザル・ニホンジカ・イノシシなどの野生動物による農作物被害が深刻で、特にニホンザルについては、大きな群れが両地域の山間を自由に往来し、被害は拡大の一途でした。

日々の暮らしに関わる獣害



宇陀・名張地域鳥獣害防止
広域対策協議会

ひろた
宇陀市農林課 廣田

への侵入、時には人を襲ってけがを負わせるなど、一刻を争う課題となっていました。

広域での獣害対策

そこで平成18年、市では名張市と連携し、宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会を設立し、県域をまたいだ広域的な有害鳥獣対策に取り組むことになりました。

協議会では、ニホンザルの生態調査をはじめ、群れの位置情報をメール発信するシステム構築や防護柵設置、ロケット花火による威嚇などを行ってきました。

しかし、サルたちも人への警戒心が少なくなり、追い払い効果も薄れてきたことから、平成21年、新たな取り組みとして、追い払いの労力を軽減するため飼犬による追い払いを行う「野生動物追い払い犬(モンキードッグ)育成事業」を行うことになりました。

※モンキードッグ(以下、MD)とは、ペットとして飼われていた犬が訓練を経て、野生動物を追い払う使役犬としての役割を担うことになったもの。

特集

市政トピックス

うだちから

まちのわだい

病院・ウエルネス

子育て・保健

お知らせ

掲示板

うだちゃん

エサもらいに来てで～



近隣で初の取り組み

平成21年度から奈良県初の取り組みとして協議会で行ったMD訓練講習会には、初めての開催にもかかわらず12頭が参加。そこで約半年の訓練を経て、追い払い犬としてのテストに合格した犬は、宇陀市と名張市が野生動物追い払い犬として公式に認定することになりました。

認定を受けた犬は、活動できる各区域に看板を設置することで、MDとしての追い払い活動を行うことができるようになります。普段は飼い主によるリードを必要とする飼い犬ですが、追い払い中はリードを外すため、周囲への周知と理解を求めためこのような掲示が必要になります。

過去には、モンキードッグ倶楽部、地域住民、そして行政機関との合同作戦により大規模な群れの捕獲に成功した例もあります。

平成27年12月から餌付けを始め、名張との県境を活動範囲とする40頭規模の群れを捕獲。被害が最小限になるよう、群れの規模を小さくしました。それとともに捕獲したサルに発信機を着けることで、その動向を把握し、引き続き生息調査を行っています。

具体的な効果

獣害対策にはもちろん駆除や捕獲、また柵の設置などにより防御する取り組みも重要ですが、近づく野生動物を

繰り返し追い払うことで学習させ、近づきにくくする、この「追い払い」は相手を傷つけず本来住むべきところに帰すという深い意味もあります。

その趣旨から、今月号の特集では「モンキードッグによる追い払い」をテーマに取り上げました。

現在この取り組みは、平成23年に宇陀市・名張市の市民有志のみなさんにより設立された「モンキードッグ倶楽部」と連携して行っています。今後も地域の景観保全、農林業の維持のためにも追い払い活動の推進と担い手育成に、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

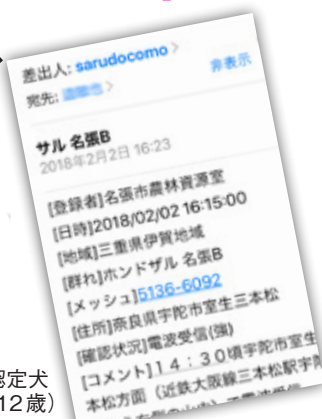
モンキードッグ活動に関心のある方からのご連絡をお待ちしています。

▶サルに着けた発信器を利用したサルの出没情報メールサービス「サルどこネット」(登録制)

「サルどこネット」
利用ご希望の方は、
農林課まで連絡ほしい
ワン!



シロ
第2期認定犬
(雑種犬12歳)



家庭犬から社会に役立つ犬に変身 ～地域で愛される犬へ～



モンキードッグ倶楽部

Facebook：モンキードッグ倶楽部 @ monkydog1048

モンキードッグ倶楽部への問い合わせや連絡は、農林課まで



愛犬のしつけをした
かったのがはじまり

モンキードッグ倶楽部
代表：達 敏也さん（室生深野）

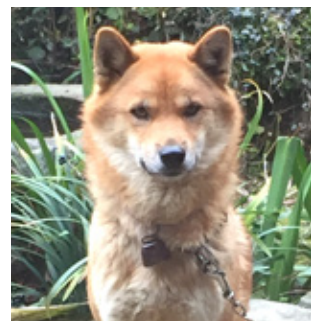
組織として結成したのは平成23年の4月。現在は名張市と室生地域在住のモンキードッグ（以下、「MD」）20頭と飼い主、地域の方や支援してくれる方など約50名で活動しています。

私たちが参加したのは、もともと住まいの周辺で日常的にサルやシカ、イノシシなどの野生動物の被害を目の当たりにしており、自分たちの愛犬で何とかできないかと思ったこと、また犬の訓練士により愛犬のしつけをしてもらえると思ったのが動機です。

ですから最初は、参加したみんなの意識も知識も犬のしつけのレベルもまちまちでしたね。

でも、訓練を通して、「愛犬と良好な関係を築きたい」「少しでも地域貢献できれば」「愛犬と一緒に何か成し遂げたい」という各々の目

愛犬：次郎長
第6期認定犬（川上犬3歳）



標が少しずつ具体的に目に見えてきました。MDが各地域に個々に点在するよりも集まることで、さらに効果的に活動できるのではなにかと思つたのが結成したいきさつです。

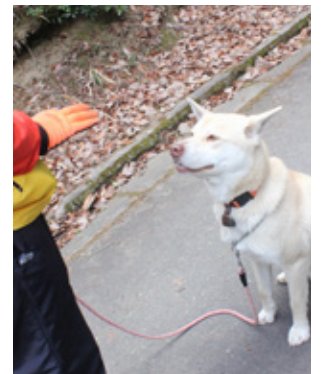
今は、みんな使命感に燃えていますよ。

愛犬からパートナーへ

実際に、訓練を経た愛犬が追い払いをして役立っているのを見て、本当にうれしく思いました。とはいえ、愛犬をMDとして育てるのはなかなか苦労します。

ペットといえども犬には野生の本能がありますし、ほかの犬と出会うとはしゃいだり、トラブルになつたりもします。

何より実際に追い払いをする場合には、首輪からリードを外す必要があります。リードを外した場合、愛犬が実際に自分の言うことを聞くのか？ 慣れない場所で走り回り迷子にならないか？ そんな



▲愛犬が自分の合図をきちんと聞くような関係づくりが必要

犬の訓練より飼い主の意識づくりが重要

ですが、その道のは大変。まず使役犬としての愛犬のレベルを保つには、訓練や日々の愛犬との接し方、互いの信頼関係の構築に気を配らなければなりませんし、心構えが必要です。

犬は、基本的に群れを作り、リーダーのもとで生活する動物ですから、まずは飼い主が犬にとって上位に立ち、愛犬が「この人が私のリーダー」と認めないと、この活動は始まりません。

特集

市政トピックス

うだぢから

まちのわだい

病院・ウェルネス

子育て・保健

お知らせ

掲示板

うだちゃん



▲うだ産フェスタなど、様々なイベントで活動のPR



▲モンキードッグ犬のユニフォームと首輪



▲パトロールや複数犬による追い払い活動も重要



▲各MDの活動地域内に立てられた活動周知の看板や活動啓発のパンフレット

私たちの活動は、犬の能力維持の訓練、複数犬による追い払いを兼ねたパトロール、指導者として人材やMDの育成、地域の方にMD活動の周知を行なうことです。しかし現実的に、避けては通れないのは高齢化。これは私たちも愛犬も一緒に、追い払いを続けるには、今後ますます自分自身が山

追い払い活動は継続が大事

そのためには、愛犬について犬種としての特性を知り、性格を理解することが重要なのです。愛犬をきちんと育成しないと活動中、追いかけたイノシシから反撃を食らったり、人が仕掛けたワナに掛かったりして犬が命を落とす危険もあるのです。

に立ち入れるくらいの体力や、愛犬に対しても体力や判断力の面で安全に行動できるかを見極める能力が必要になってきます。そこで私たちは、滋賀県のMD活動の団体や広島県のピースワンコ・ジャパン、また視察研修や講演で出会った方々など、様々な交流を通して刺激を受けることで、活動の活性化を図り、また倶楽部内にMDトレーナーを4名育成することで新たな参加者の受け入れ体制づくりを進めています。今は名張・室生地域だけですが、MDの輪を市内各地域に広げ、活動を次につなげていけたらと思っています。

みんなで集落を守る

市内各所には、まだ行動が把握できていないサルが点在し、シカやイノシシは日々出没し、多大な損害を与えています。

実際に野生動物が出没して困る際は、みなさんから情報提供をいただきたいですし、私たちの活動に興味を持たれた方からも連絡をいただきたいと思っています。現在の私たちだけではなく、地域の方と一緒に仲間になってくれる方がいなければ、この野生動物の防除は継続していきません。

みなさんに分かってもらいたいのは、MDだけが野生動物防除の手段ではないということ。

自宅の飼い犬でも、野生動物が追い払いやすいように、畑にワイ

ヤーを張り、そこにリードを繋ぐなどによって野生動物が近づくのを食い止めることができます。また、集落の周辺を散歩しながら犬の匂いを周りに付けることによって、ある程度は侵入を防ぐことができるのです。

市内には、きちんと訓練すれば、まだまだ人の役に立てる犬がもつといるはず。人も犬も地域の方も連携し、互いに理解し合うことで、獣害から私たちの生活を守っていただければと思っています。

紀代松 / 第4期認定犬 (紀州犬6歳)



野生動物から

農地を守る 集落を守る

みんなで守る!

ピノコ / 第5期認定犬
(ジャックラッセルテリア9歳)



獣害対策は 順序が大事

- 一、みんなで勉強
- 二、集落点検
- 三、柵や囲い
- 四、最後に捕獲

集落内で野生動物 のエサ場を絶つ!

集落内では

「食べたなら怒られるエサ」
よりも

「食べても怒られないエサ」
を食べられていることが

大問題!!

獣害対策は「目的」
ではなく「手段」

本当の「目的」は作物が
獲れるようになること。

その事を見失わない!!

獣害対策の順序 とは?

①まずは、地域のみなさんで、敵を知りましょう。被害がどんな野生動物によるものなのかを見極め、その上で彼らの生態を知りましょう。

②次に、なぜこの集落が狙われたのか原因を知りましょう?きつと彼らのエサとなるものがあるはずです。

③敵を知り、原因がわかってでも防除できない場合は、柵など物理的な方法で集落を防御するしかありません。

④最後の手段は、捕獲・駆除するなど敵の数を減らすこと。そのため檻やワナなど実際に敵と対峙する決意が必要です。

集落全体で闘う

獣害対策は各々バラバラで行うよりも、みんなで取り組むことが経済的、労力、時間の面でも有利。「相手を知り、自らを知る」みなさんの知恵と努力、チームワークでこの危機を脱しましょう。

集落内で野生動物 のエサ場を絶つ!

「食べたなら怒られるエサ」とは、人がこれから食べようとするもの。例えば、農作物や果樹。

しかし、「食べても怒られないエサ」とは収穫後、畑に残された野菜や稲のひこばえ、放置されたままの柿や栗、生ゴミなど。雑草も彼らのエサとなります。これらを理解して無くすることが必須。

モンキードッグに適している犬は、

- ①体の丈夫な中・大型犬
- ②8か月～8歳程度
- ③穏やかで人好き、好奇心旺盛
- ④基本的な警戒心があること

桃太郎
第2期認定犬
(柴犬9歳)



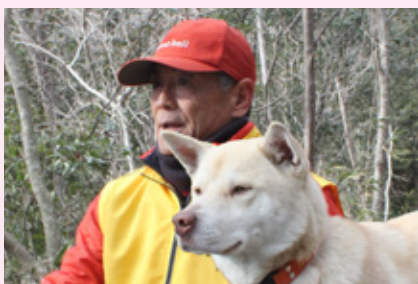
でも、どんな犬でも訓練次第でみんなのために活躍できるようにするよ

ベコ
第4期認定犬
(雑種犬7歳)



新人モンキードッグ倶楽部員

山本さんと愛犬「なる」の日常



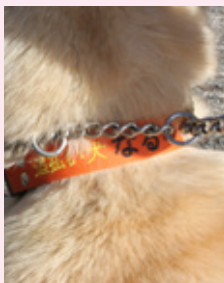
山本竹男さん
(室生大野)
なる
第7期認定犬
(雑種犬2歳)

私は犬を飼っている
周りの方は田畑が獣害で困っている
そこで、私たちが何かできないか

「なる」と一緒に暮らして約2年。モンキードッグ(以下、「MD」)として活動を始めて半年が経ちました。

モンキードッグ倶楽部の方に犬のトレーナーになってもらっているのですが、なかなかしつけは大変ですね。飼い主よりもトレーナーの言うことを聞くこともあるので、ジェラシーを感じることもよくありますよ(^^)

でも、しっかりしつけないと、リードを外した時、私の言うことを聞かないと愛犬も危険ですし、何より使役犬として役立てないですからね。



▲MDとしての認定と連絡先を記した首輪

今、不安に思うのが、複数の犬や人と一緒に行動した場合、きちんと行動できるのかということ。もっと訓練が必要なのですが、実戦の場で追い払いができないと自信が持てないし、犬自身も勘が養えません。



▲散歩ではリードを外して命令の訓練も

毎日、服従訓練と周辺パトロールを兼ねて「なる」と4キロ近く散歩をしています。これは私自身の健康維持にも、地域との関わりの中でも十分効果がでていると思います。

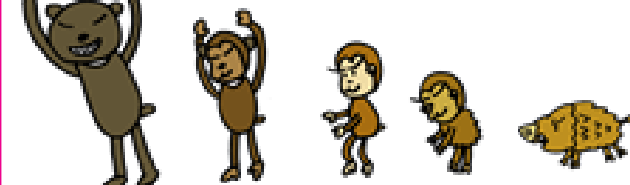
そんな生活の中で、飼い主としての自分と「なる」の成長を感じることがあると本当にうれしく思います。今は、MDだけではなく、犬の訓練競技会にも出場しようと目標を立てています。おかげで楽しい毎日を送っていますし、彼はまるで子どものような存在です。

ともあれ、私たち自身の充実だけでなく、私たちの日々が地域での獣害防止に対して少しでも貢献できれば、と思っています。

▶定期的に訓練や活動の状況を話し合います。先輩倶楽部員の方は、私たちにとっても、まるで先生のような存在



まず知ろう！野生動物！



ニホンザル

警戒心はありますが、いったん慣れると家の中に入るなど非常に大胆な行動を。雌は生まれた群れで一生暮らします。雄は成長すると単独で行動するか少数の群れで過ごします。



ニホンジカ

警戒心は強いですが、凶々しさもあります。跳躍力は2m以上。また地面に隙間があれば潜って侵入することも。大好物は若葉ですが、硬い樹皮やササなど、ほとんどの植物を食べます。



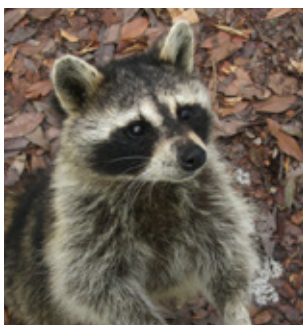
イノシシ

臆病で注意深いですが、パニックになると襲ってきます。跳躍力は1m以上。視力は良くありませんが、嗅覚は犬並。力が強く、鼻先で50kg以上持ち上げられます。牙で大けがをすることも。



アライグマ

最近、市内各地で見られるアライグマは、アメリカ原産で特定外来生物に指定されています。雑食で、生ごみを散らかしたり、農地を荒らします。見かけによらず狂暴で、繁殖力も強いです。



▶協議会が作成した獣害対策の手引きのパンフレットでは、野生動物の特徴や柵設置などより詳しい内容を掲載。ホームページでご覧になれます



特集

市政トピックス

うだぢから

まちのわだい

病院・ウエルネス

子育て・保健

お知らせ

掲示板

うだちゃん